



千葉市立第二養護学校

「学校だより」

令和5年3月15日
第11号

こぼと

可能性を信じる

校長

弥生になり、卒業の季節、一年間のまとめの時期となりました。「弥」には「いよいよ」「ますます」、「生」は「草木が芽吹く」という意味があり、「弥生」とは「草木がだんだんと、芽吹く時期を」をさす言葉だそうです。

いよいよ本校でも、6年間、種をまき、水をやり、肥料をあげ・・・芽吹いた6名が卒業します。毎年、卒業という言葉には、進学への期待と別れの寂しさを感じます。

本校の職員にとっても、子供たちとの別れは、とても寂しいものです。それは、きっと、子供たちが「私たちの大切な存在」であるからだと思います。人は、必要とされたり、大切にされたりすることで人との関わりを学び、感性を育み成長していきます。6名の卒業生は、この6年間、様々な人に大切にされ、また時には、笑顔や成長という恩返しで、保護者の方々や職員を支えてくれました。

3月16日（木）に行われる卒業式では、そんな様々な人たちの思いを背負って、6羽のこぼとは、立派に巣立っていくことでしょう。この三年間はコロナ禍のため、なかなか学校行事を円滑に行うことができませんでしたが、この一年間は、入学式、運動会、修学旅行、こぼと発表会、幕張総合高校などとの交流と、少しずつ「学校の日常」を経験することができました。

なかでも、私にとって東京への修学旅行は印象的でした。千葉みなと駅から豊洲駅までの乗り換えを含めた電車移動。夢の大橋を散歩したり、キッザニア東京やジョイポリスお台場では、グループや個々でやりたいこと・乗りたいものを十分に楽しんだり・・・と、そんな姿を目の当たりにし、子供たちの秘めた「可能性」を改めて感じさせられました。まさに、6年間の積み重ねがこの姿なのだ。

こうした行事を通して、子供たちは周囲の期待に応え、素敵な活躍を見せてくれました。私たちも子供たちの笑顔や頑張りに救われたり、一緒に活動することで元気が湧いてきたりする経験を何度もしてきました。卒業するにあたっては、「子供たちの自立や社会参加に向けてどれだけのことができたのか」「もっともっと取り組むべきことがあったのではないか」・・・など、私だけではなく担任たちも思いを巡らしています。卒業生6名全員は市立養護学校へと進学し、新しい学校生活への期待感に溢れています。我々との別れも、そんな成長へのステップであると考え、また会える日を楽しみに、卒業式の日を迎えます。

担任時代、何度も卒業生を送り出してきましたが、今回、初めて校長として送り出す卒業生6名。一生忘れられない子供たちです。あの「笑顔」には、いつも元気をもらい癒された一年間でした。「ありがとう」そして「いってらっしゃい」と、心から送り出したいと思います。そして、応援団の一人として、みなさんのこれからの「可能性」を信じ・・・応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、一年間の温かいご支援ご協力に感謝申し上げます。来年度も引き続き、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

【令和4年度 学校評価結果（保護者 69名/92名）回収率 75.0%】

番号	内容	4	3	2	1	平均	昨年度
1-1	給食指導	58	10	1	0	3.8	3.8
1-2	健康に生活できる習慣づくり	59	9	1	0	3.8 (↘)	3.9
1-3	体力の向上	60	8	1	0	3.9 (↗)	3.8
2-1	日常生活の指導	61	7	1	0	3.9	3.9
2-2	生活単元学習（あそびや調理の学習等）	59	9	1	0	3.8 (↘)	3.9
2-3	ことば・かずの学習	57	9	3	0	3.7 (↘)	3.8
2-4	教科別の学習（音楽、図工、体育等）	58	10	1	0	3.8	3.8
2-5	自立活動	56	12	1	0	3.8 (↗)	3.7
2-6	「できる状況」教材教具等	58	10	1	0	3.8 (↘)	3.9
3-1	意欲的な活動	59	9	1	0	3.8 (↘)	3.9
3-2	互いのよさに気づく活動	53	15	1	0	3.8 (↗)	3.7
3-3	学び合い・関わり合い	57	11	1	0	3.8	3.8
4-1	個別の指導計画は学校教育で役に立つか	58	10	1	0	3.8	3.8
4-2	個別の指導計画は取り組みやすい目標か	59	9	1	0	3.8 (↘)	3.9
4-3	個別の指導計画は適切に進められているか	58	10	1	0	3.8	3.8
4-4	個別の指導計画は家庭での生活に役立っているか	48	20	1	0	3.7	3.7
5-1	信頼できる関係づくり	59	9	1	0	3.8	3.8
5-2	学校だより、連絡帳	60	8	1	0	3.9 (↗)	3.8
5-3	個別面談	62	6	1	0	3.9	3.9
5-4	保護者の要望の反映	47	20	2	0	3.7	3.7
5-5	安全対策	47	20	2	0	3.7 (↗)	3.5
5-6	校舎内外の環境や掲示	49	18	2	0	3.7 (↘)	3.8

【考察】

1 ここに元気でしょうぶな子（体育・保健、給食指導等）

- 給食指導は、昨年度と同じ3.8ポイント。「食べられない物・食べない物が、食べられるようになっていく。」
「食事に対しての意欲も出てきたように感じる。」など、食事や態度面について効果を感じている家庭がありました。
今後も、児童の実態に合わせて具体的な指導を継続していくとともに、家庭とも連携して定着を図っていきます。
- (1-2)歯磨きや手洗い、うがい、口腔衛生指導等は、昨年度よりも0.1ポイント評価が下がりました。口腔衛生指導については、「児童が歯科衛生士に実際に指導されることで、毎日の歯磨きを嫌がらずにやれるようになったり
歯医者に行って治療することにも抵抗が無くなってきたりとしている。」という回答も見られました。歯磨き指導も継続して取り組んできたことで、虫歯も少なく、家庭での歯磨きの習慣の定着にもつながっています。さらなる衛生意識を高めていきたいと考えます。
- 体力の向上については、昨年度より0.1ポイント上がりました。年間を通して行っている身体づくりなどにより、運動量の確保と活動の習慣化等が図られています。各学年や学級、児童個々の成果と課題を確認し、次年度の身体づくりの在り方についても検討していきます。

2 よく学びよく遊び自分でできる子（日常生活の指導・教科別の指導・生活単元学習等）

- 生活単元学習で0.1ポイント、ことば・かずの学習については、0.1ポイント昨年度の評価を下回りました。個々の学びについて具体的な内容の分析を行い、改善を図ってまいります。
- 自立活動で0.1ポイント、昨年度の評価を上回りました。改めて自立活動の指導内容と個々の実態を確かめ、評価を行っていきたく考えます。一人一人の児童が主体的に取り組めるように実態に合わせた目標を設定し、取り組んできました。成果と課題を確認し、保護者と児童の変容を捉えながら指導の改善につなげていきます。

3 うれしさがんばりみとめあう子（行事・交流・日頃の学校生活全般）

- 意欲的な活動では、0.1ポイント昨年度の評価を下回りました。学校生活全般では、ポイントは下がりましたが、「毎日楽しそうに学校に通っている。」「自分で挑戦してみようという気持ちが、以前よりもあるように感じる。」など、一定の効果を保護者が実感しています。引き続き、児童の学びの評価を行い、反省を踏まえて改善を図ります。
- 互いのよさに気づく活動では、0.1ポイント昨年度の評価を上回りました。「クラスのお友達と一緒に過ごすことで、『自分も同じことをしたい。』という意識が芽生えてきた。」「家でも、お友達の名前をよく口にするようになって、刺激を受けているようだ。」という回答も見られました。活動の形態や方法を工夫し、互いのよさを確かめられるようにしてきました。今一度評価を行い、よいものは継続し改善が必要なものは、具体的な内容や方法を考え、改善を図ってまいります。

4 教育計画に関して

- 1・3・4の項目では、昨年度と同ポイントの評価が得られました。個別の指導計画が示されることで、個々の課題が明確になり、具体的な取組による成果は感じられるようになってきていると考えます。
- 2の「個別の指導計画は取り組みやすい目標か。」という内容については、昨年度より0.1ポイント下がっています。計画の作成・実施・評価までを保護者と共有し、家庭での取組につながるような手立てや工夫を図ってまいります。
- 指導目標と手立て等については、より分かりやすく具体的で取り組みやすいものになるよう、定期的に検討し、児童の実態に応じて修正を図ってまいります。

5 学校の安全・開かれた学校に関して

- 学校だよりや学年だより、連絡帳等での情報の伝達については、概ね学校での児童の様子が伝わり、昨年度よりも0.1ポイント評価が上がっています。連絡帳で、個々の様子について具体的に示されることで児童の変容を感じ、安心しているという回答がありました。今後も継続していきたいと考えます。
- 安全対策については、昨年度より0.2ポイント上昇しました。年間を通して行っている地震や火災、不審者を想定した避難訓練も反省を踏まえ、児童の実際の学校生活に即した訓練を行いました。児童・職員の危機意識も向上していると感じます。絶えず最新の情報を取り入れ、時代に合った訓練の在り方を考え、安全・安心な学校づくりにつなげてまいります。
- タブレットパソコン（ギガタブ）も、児童や家庭の実態に即して活用を図っています。様々な方法で児童の学びを助け、保護者との意見交換等でも活用できるように評価を行い、改善を図りたいと考えます。

【お知らせとお願い】

- 今年度の離任式は、修了式と同日の3月24日に行います。児童のみの参加となります。なお、年度末の人事異動者等につきましては、24日（金）にお手紙にてお知らせします。異動先等詳細につきましては、新聞発表後にマメールでお知らせします。
- プレハブ校舎の建設工事が進み、完成は3月末の予定です。それに伴い校内の駐車場所の確保が難しく、保護者の皆様にはたいへんご不便をおかけしております。児童送迎時のみ、正門近くの3台分を確保しておりますのでご利用ください。引き続き送迎以外の来校は、公共交通機関やコインパーキング等をご利用ください。令和5年度も、古いプレハブ校舎の解体等が完了するまで、この状況は続きます。ご協力をよろしく申し上げます。
- スクールバス到着時刻の5分前集合のご協力ありがとうございます。バスにすぐ乗車できるように、車からは降り、リュックを背負った状態でお待ちください。安全面で不安のある方は担任までご相談ください。
- 3月24日に、バスに乗せてある着替えを持ち帰らせます。
- マスクの着用について、文部科学省から卒業式において「児童及び教職員について、卒業式全体を通じてマスクを外すことを基本とする。」との方針が示されました。本校ではそれを受けて、卒業式では児童と職員は式全体を通じてマスクを外すことを基本といたします。
今年度中の卒業式以外の行事（修了式・離任式等）は、マスク着用を原則とし、感染予防対策を立てながら教育活動を行ってまいります。なお、4月1日以降の新学期におけるマスクの着用については、改めて出される文部科学省や千葉県教育委員会からの方針を受けてご連絡いたします。

